

視察・講演企業のご紹介



第1回	22.09.27(火)【視察・講演】	京都
ZERO to WONDERFUL 東レ建設株式会社 トレファーム事業推進室 課長 藤本 勉 氏		

建設会社から農業に参入！

高床式砂栽培トレファームが新たな農業を生み出す

東レグループで建設事業と不動産事業を担う東レ建設は、生産設備のIoT制御と建設のノウハウを農業に展開、高床式砂栽培システム「トレファーム®」を事業化した。トレファーム®は「誰でも」、「楽に安全に楽しく」、「しっかりした野菜」を栽培することをコンセプトにしている。けいはんな学研都市にある実証農園では地域住民の方々と協力して「楽しく」も実証している。農業の新しい価値にも着目した東レ建設の取組について学ぶ。

アグリサポート研究会

第1回	22.09.28(水)【講演】	京都
株式会社坂ノ途中 代表取締役 小野 邦彦 氏		

「100年先もつづく、農業を。」

野菜の定期宅配便を展開する「坂ノ途中」の戦略

「100年先もつづく、農業を。」というビジョンを掲げ、環境負荷の小さな農業に挑戦する生産者をパートナーとして「旬のお野菜セット定期便」を展開する坂ノ途中。東南アジアにおいて持続可能なコーヒー栽培を広げる「海ノ向こうコーヒー」も事業拡大している。社会貢献性の高い分野で独自の工夫を重ね成長を続けてきた企業の戦略をご講話いただく。

第2回	22.12.08(木)【視察・講演】	鹿児島
株式会社カミチクホールディングス 代表取締役社長 上村 昌志 氏		

畜産業における6次化とサステナビリティへの取り組み

同社は1985年に創業し、現在はグループ経営にて畜産業における6次産業を展開。「安全・安心な良質の牛肉を納得のいく価格でお届けする」という6次化スタイルを掲げ、その実現を目指しているカミチクグループ。近年ではサステナビリティへの取り組みとして持続可能な畜産・農業の推進の他、環境保全への取り組みにも力を注いでいる。

第2回	22.12.09(金)【視察・講演】	鹿児島
有限会社ファームランド櫻島 代表取締役 室屋 智美 氏		

伝統作物を無農薬・無化学肥料で育てる循環型農法とは～地域を活性化させるファームランド櫻島の取り組み～

2008年設立されたにファームランド櫻島。鹿児島県の桜島という、世界的にも類を見ない活火山の麓で伝統作物である桜島大根を生産。目の前の錦江湾から取れる海藻を主な肥料として使用することで、無農薬・無化学肥料を実現している。また2013年に開業した近隣の農家カフェ「Cafeしらはま」ではファームランド櫻島で生産した有機野菜を使った食事を提供したり、地域連携により商品開発を行うなど、桜島に根付いた活動を展開中。

第3回	23.01.26(木)【視察・講演】	沖縄
農業生産法人 有限会社大嶺ファーム 代表取締役 上地 登 氏		

ユートピアファーム宮古島のビジネスモデル
～農業を通じ、お客様と感動を共有する～

「農業では飯は食えない」幼い頃、よく聞かされた言葉である。それでも私は農業への夢を諦めきれず、農林高校・園芸専門学校へと進み、「農業の原点は土づくりにあり」を信念に取り組み、いつの間にか市場から高評価を頂けるまでになった。「私が農業に感じている幸せをより多くの人に共感してほしい。その思いで『ユートピアファーム宮古島』」をOPENさせた。苦しいときも、つらいときも、お客様の喜ぶ顔が私の原動力である。

第3回	23.01.27(金)【視察・講演】	沖縄
株式会社オルタナティブファーム宮古 代表取締役 松本 克也 氏		

サトウキビの常識を超えた商品開発による
差別化と成長戦略

「サトウキビは農業なしでは栽培できない」——。松本社長は、その定説を覆しサトウキビの有機無農薬栽培に乗り出し、いっさいの農薬・化学肥料を使わずに育てている。そうして作られた黒糖や黒蜜は、これまでの概念を変えるほどの絶品と評価を得ている。また、松本社長は元大手自動車メーカーの研究職。どこにもない商品「さとうきびジュース」を開発しサトウキビの価値を高めるとともに、サトウキビ以外の商品作りにも挑戦し続けている。

視察・講演企業のご紹介



アグリサポート研究会

第4回 23.03.23(木) 【視察・講演】 静岡

小林クリエイト株式会社



アグリ事業部 課長

松林 和幸 氏

大型完全閉鎖型植物工場～小型の栽培プラント

(魅せる植物工場) 及び水耕栽培の太陽光併設型ハウスによる新規事業参入への支援

小林クリエイト アグリ事業部は、大型完全閉鎖型植物工場から小型の栽培プラント（魅せる植物工場）及び水耕栽培による太陽光併設型ハウスを展開。生育管理や労務管理を支援するagis（エイジス）生育管理システム、「栽培物」と「人」を管理することで生産性向上に寄与するツール、最後の改善対象である「水（液体肥料）」の管理ツールであるiponics（アイボニック）最適肥料処方監視システムを開発。閉鎖型植物工場を視察し、新規事業参入への支援展開をご講話いただく。

第4回 23.03.24(金) 【視察・講演】 静岡

株式会社 Happy Quality

代表取締役

宮地 誠 氏

農業界の生産から流通までの
インフラサービスカンパニーを創る

静岡県の農業ベンチャー・Happy Qualityは、元は市場のベテラン競り人だった宮地誠氏が起業。農業への課題意識から、高付加価値な農産物を誰でも簡単に生産・販売できるシステムを構築。大学等との連携のもと、独自のスマート農業を実現し、農業の新たな世界基準の創出にチャレンジしている。

第5回 23.05.25(木) 【講演】 新潟

ウォーターセル株式会社



代表取締役

渡辺 拓也 氏

持続可能な農業づくりへの貢献

近年日本の農業を取り巻く環境は、高齢化、生産人口の減少をはじめ、大変厳しいものとなっている。ノウハウの継承や生産性・業務効率率の向上が急がれ、そのための経営状況の可視化と共有化が重視されている。また、自然の影響を大きく受ける農業に対する環境負荷軽減も、取り組むべき重要な課題である。ウォーターセルは、これらの社会課題の解決に向け、農業情報のプラットフォーム構築を通じ、農業と食の進化に貢献する。

第5回 23.05.25(木) 【視察】 新潟

株式会社ベジ・アビオ



代表取締役

山崎 瑠樹 氏

トマトハウス栽培の視察

第5回 23.05.26(金) 【視察・講演】 新潟

燕三条「畑の朝カフェ」実行委員会



実行委員長

渡辺 康弘 氏

世界に誇るブランドの地、燕三条
～農業の「伝統と挑戦」～

農産物のブランド化を目的として農家を中心に、流通、工業、情報産業等の異業種連携プロジェクトで、地域農業再生には土地の性質、生産者の気質を伝える仕組みが必要と考え、多様性と多品目を備えた田畑が魅せる美しいロケーションを有効活用し、「朝カフェ」を運営。ここにしかない特別な空間を創造して、ブランド化を図っている。

Guest information

視察・講演企業のご紹介



アグリサポート研究会

第6回

23.07.13(木) 【視察・講演】

北海道



株式会社折笠農場

代表取締役

折笠 健 氏

折笠農場の成長の軌跡とこれからのオーガニック

個人農家として最大級の95haの土地を持ち、その1/3の農地が有機JAS認証を受けている。「美味しい」「安心」「安全」の合言葉をもとに農薬や肥料・堆肥を使わない自然栽培を実施。その有機農産物を使い加工品販売にも取り組んでいる。オーガニックの重要性や発展のための課題について講演いただく。

第6回

23.07.14(金) 【視察・講演】

北海道

鹿追町環境保全センターバイオガスプラント / 鹿追町農業振興課

環境保全センター係

課長補佐 橋本 和剛 氏、主任 石津 功喜 氏、地域おこし協力隊 黒瀬 開 氏

小さな町の大きなチャレンジ

家畜ふん尿や生ゴミといった再生可能エネルギーの一つであるバイオマスを嫌気性の微生物が分解することで発生するバイオガスを製造・収集する施設。バイオガスを燃料として発電し、発電機から生まれた熱を利用し、マンゴー栽培やチョウザメ養殖、水耕栽培を行っている。

アグリサポート研究会



タナベコンサルティング アグリサポート研究会

検索

研究会の詳細はこちらをご覧ください